

ルーマニア主催「三海域イニシアティブ（3SI）首脳会合」（概要）

令和5年8月
外務省欧州局



1 会議概要

- 日時: 2023年9月6日(水)～9月7日(木)(時差: -6時間)
- 場所: ルーマニア・ブカレスト
- 主催者: ルーマニア政府(首脳会合: 大統領府、ビジネスフォーラム: 首相府)
- 招待者: 加盟国12か国(右図の青色部分)、3SI戦略的パートナーとして米、独、欧州委員会、非加盟国から日、英、ギリシャ、モルドバ、ウクライナ、トルコ、国際機関(原則首脳級。)

2 三海域イニシアティブ(3SI)の設立経緯と今次会議の目的・コンセプト

- 2015年に中・東欧・バルト地域における南北の連結性強化及び東西格差の縮小を目的として発足。三海域(バルト海、黒海及びアドリア海)に囲まれた地域のエネルギー、交通・運輸、通信・デジタル等の分野におけるインフラ整備を推進。
- 第3回ブカレスト首脳会合の2018年に三海域イニシアティブ投資ファンドを開設。加盟国や米国が拠出。完全に商業的な運営となっており、今後国際金融機関や民間投資家からの出資を募る。資金メカニズムを有する経済協力の枠組みであり、EUを補完するとの位置づけ。
- アトランティック・カウンシル(米シンクタンク)の2014年報告書を創設の基礎としており、中国・ロシアの影響力拡大を抑制する観点から、米国は一貫して3SIを支持。
- 我が国も3SIへの支持を表明。2021年及び2022年に外務省が日本企業向け3SIセミナー、本年6月に経団連がバルト三国及び中東欧地域の政治経済情勢に係るオンライン会合を開催、日本企業の同地域への参画を後押しする立場
- 今次会議は「共に強くなろう(Together we are stronger)」をコンセプトに、3SIを地域の戦略的インフラ相互接続プロジェクトと投資を促進するための政治的プラットフォームとして再確認し、EU及びEU域外、大西洋を越えたパートナーシップを促進する。今年度より、ギリシャが正式加盟予定。ウクライナとモルドバに準メンバーの地位を付与。

3 会合の構成

【1日目(9月6日(水)): 首脳会合】

- 15:40 開会挨拶
- 15:58 集合写真
- 16:00 オープニングセッション
(ヨハニス大統領スピーチ、各国首脳スピーチ)
- 18:10 共同記者発表
- 18:45 首脳夕食会/外交団レセプション

【2日目(9月7日(木)): ビジネスフォーラム】

- 10:00-10:45 開会式
- 11:15-13:45 パネル(エネルギー、運輸、デジタル化)
 - (1) エネルギー・パネル: ①脱炭素化と再生エネルギー、②原子力、③水素
 - (2) 運輸・パネル: ①鉄道交通、②道路交通
 - (3) デジタル化・パネル: ①クラウド下のサイバーセキュリティ、②AIの安全で持続可能かつ加速的な導入に向けた戦略的アプローチ
 - (4) 投資・パネル: 投資
- 13:45-14:45 昼食・B2Bミーティング
- 15:00-16:30 ネットワーキング、B2Bミーティング